

成果報酬型 エコチューニングのご提案

初期投資ゼロで実現するGHG排出量削減

ご提案の主旨

目標: 日本の GHG排出量削減

2030年までに

2013年比 46%削減

この高い目標に対し、運用改善（エコチューニング）はどの程度の貢献可能性があるのでしょうか？

提案: 成果連動型での試行

初期投資の必要が無い

成果連動型エコチューニングにて、その効果を試して頂きたいと考えています。

対象となる建物



延床面積: 10,000㎡ 以上

(敷地内に建物が複数ある場合、合計面積)



中央監視設備のある建物

(エネルギーと設備の状況を把握するため)



設備員が常駐にて管理

(日々の運用改善活動を実行するため)

エコチューニング ビジネスモデル



Before

従来の高い
エネルギー使用量



After

設備運転の運用改善による
エネルギー使用量

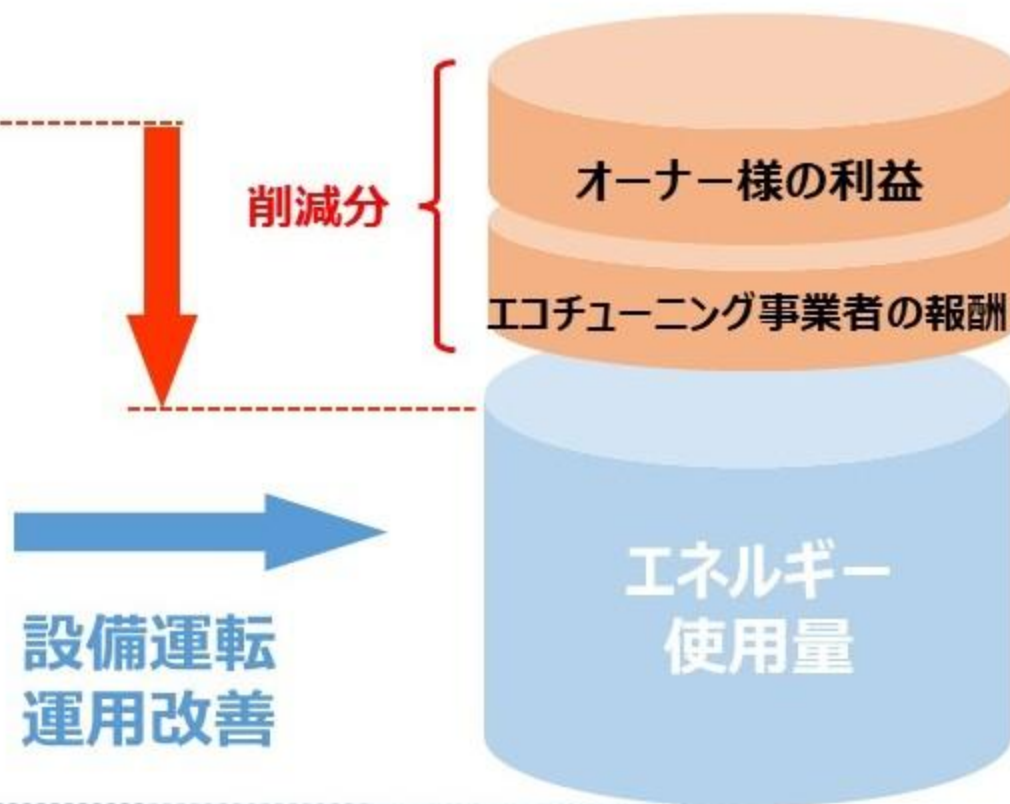
削減分 (Savings)

削減分を「**オーナー様の利益**」と「**事業者の報酬**」としてシェアします。

エコチューニング Before



エコチューニング After



業務の流れ(参考例)



業務委託契約のポイント ①: 成果報酬

50%
成果報酬

光熱費低減実績額の 50%

対象となる算定期間(6か月)における光熱費低減実績額の50%を
業務委託料といたします。

※ 光熱費低減実績額 = エネルギー使用量の削減量 × 光熱費単価

業務委託契約のポイント ②: 契約期間と基準

契約期間: 2年間

契約期間は2年間とし、状況を見たうえで契約の継続を協議させていただきます。

ベースライン: 前年実績

算定の基準となるベースラインは、契約締結の前年使用量の実績をベースといたします。

(ただし、建物の稼働状況などが大きく変動する場合は調整させていただきます)

業務委託契約のポイント ③:ペナルティ

”

対象となる算定期間の各エネルギー種別の使用量が
ベースライン使用量と比較して、**削減量が1%以内の場合**
は、該当エネルギー種別に関して、その算定期間の
業務委託料は発生しない ものといたします。

”

業務委託契約のポイント ④: 対象エネルギー



共用部 電力量

照明、空調、搬送機など、共用部の電力
使用量を対象とします。



共用部 ガス

空調熱源や給湯などで使用されるガス使
用量を対象とします。

本提案の強み



初期投資ゼロ

オーナー様のリスクなく、省エネ（GHG削減）活動を開始できます。



成果連動型モデル

削減メリットを共有する、透明性の高いビジネスモデルです。



確実なGHG削減

運用改善（エコチューニング）のポテンシャルを実証します。



現場との連携体制

設備管理者様、PM様と一体となり、継続的な改善を目指します。

Questions?

ご清聴ありがとうございました。